

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画マスタープラン進行管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	土地利用の状況や都市計画事業の進捗に伴い、都市計画マスタープランの見直しを行う。
事業内容	T X沿線の土地区画整理事業の進捗など、市内の土地利用の状況変化を受け、平成17年2月に策定された都市計画マスタープランの見直しを行い、その後の進行管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年2月21日策定 平成28年12月21日改定			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		流山市は住み心地が良いまちであると思う市 これからも流山市に住み続けたいと思う市民	79.30	77.20	79.50	%	
		80.50	80	81.50	%		まちづくり達成度アンケート
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成27年度 見直しの方向性の検討
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度 見直しに係る庁内会議 3回開催 見直しのための市民協議会 3回開催 9月1日～30日 パブリックコメント実施 12月16日都市計画審議会 諮問 12月21日改定公表			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,012,000	12,908,200				
事業費(b)(円)			6,043,200				
うち一般財源			6,043,200				
職員給与費(c)(円)		3,012,000	6,865,000				
人役・職員(人)		0.40	1.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	市民への周知を図り、市民の意見の集約に努める。	取組の課題	次期総合計画の策定に併せ、市民参加の手法について検討を要する。
今年度(H28)に実施した取組	市民協議会を開催するとともに、説明会を開催し、市民の意見の集約に努めた。	今後の改善計画	平成29年度には次期総合計画の策定に併せ、市民参加の手法について検討に着手する。